

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|--------------|--|
| 承認番号 | 18038-3 |
| 課題名 | 経食道心エコーによるストレインを用いた心機能評価の有用性の検討 |
| 研究期間 | 倫理委員会承認日 ～ 2023年3月31日 |
| 研究の対象 | 上記研究期間に旭川医科大学病院で人工心肺を用いた心臓手術を受ける患者さん |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、現病歴、既往歴、術式、麻酔方法、術中麻酔薬使用量、エコー画像を含む術中バイタルサイン、術中モニタリングの結果、手術時間、麻酔時間、術中術後副作用・合併症、カテコラミン使用量、人工呼吸時間、ICU 滞在時間など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 研究の意義、目的 | <p>近年、スペックルトラッキングを用いた新しい心機能評価であるストレイン測定が注目され、報告が増加している。しかし、その多くは経胸壁心エコーを用いた非手術症例または手術前後の評価に関する報告であり、経食道心エコー（以下 TEE）を用いた術中の評価に関する報告は少ない。またこれら TEE での報告は 2D-スペックルトラッキングを用いており、より正確な測定を可能とする 3D-スペックルトラッキングを用いた報告はない。</p> <p>本研究は、心臓手術において経食道心エコーを使用し、3D-スペックルトラッキングを用いたストレイン測定による心機能評価を行い、その有用性を検討する。</p> |
| 研究の方法 | 人工心肺を用いた心臓手術を受ける成人患者さんを対象とし、人工心肺の前後で TEE 検査を施行する。TEE 検査で記録した画像を使用し、スペックルトラッキングを用いたストレインを測定する。術後に心機能が低下した患者さんと低下しなかった患者さんにおいて、ストレインの変化などの心機能評価の指標の変化を比較検討する。また、それら指標の変化がアウトカム（カテコラミン使用量、人工呼吸時間、ICU 滞在時間など）と相関するかを検討する。 |
| その他 | 本研究に団体・企業等とは関与しない。 |
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 住所：〒078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 電話番号：0166-68-2583</p> |

| | |
|--|-------------------------|
| | <p>所属：旭川医科大学 麻醉科蘇生科</p> |
|--|-------------------------|

研究責任者：林 健太郎

研究代表者：旭川医科大学 麻醉科蘇生科 林 健太郎